

自由民主党内・議員連盟等での活動



6月13日
参議院厚生労働委員会 採決 (委員長)



6月19日 救急医療に関する議員勉強会
「救急医療の現状」についてヒアリング



6月19日
参議院本会議 委員長報告



6月20日
医師偏在是正に関する研究会



6月20日
日本医師会にて医療基本法に関する打ち合わせ



6月22日
全国自治体病院協議会定時総会



6月30日
全国社会保険労務士連合会・
全国社会保険労務士政治連盟
平成29年度 通常総会・定例大会



6月27日
東京医科大学にて講義 (客員教授)



7月15日
日本耳鼻咽喉科医会 設立50周年記念祝賀会



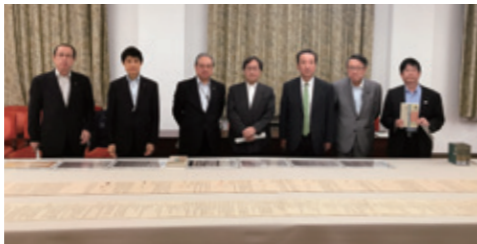
7月19日
厚生労働部会 (平成30年度概算要求について)



8月24日
世界保健機関 (WHO) 議員連盟アジア太平洋国会議員フォーラム集合写真



8月29日 救急医療に関する議員勉強会
「救急医療と大都市の地域医療連携」
についてヒアリング



9月1日
「医心方」見学会 東京国立博物館にて



9月5日
厚労省働き方改革レク (自民党副幹事長)



上毛カルタより 尾瀬ヶ原
日本を代表する美しい風景と貴重な動植物を見られる尾瀬は、平成19年(2007)に29番目の尾瀬国立公園として新たに指定されました。国際的にもラムサール条約湿地に登録されています。

俊翔会(しゅんしょうかい)のご案内

羽生田たかしの政治活動を支援するための後援会「俊翔会」へのご入会をお願いいたします。

目的: 我が国における社会福祉の発展と国民生活の質的向上を目的とし、羽生田たかしの政治活動を支援するとともに、会員相互の親睦を深めることを目的とする。
会費: 年10,000円(一口)

お問合せ先: 俊翔会事務局
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館319号室
Tel. (03) 6550-0319 / Fax. (03) 6551-0319



気候変動枠組条約第23回締約国会議 (COP23) の際の議員会議出席のため、参議院代表団の一員としてドイツに出張しました。

ごあいさつ

平素より、私の政治活動に対しまして大変なご支援とご配慮を賜っておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。また日頃より地域医療にご尽力・ご貢献頂いておりますことに、併せて感謝申し上げます。

また、先般の衆議院議員選挙におきましては、皆様の多大なご協力により、定数が10議席減る中で、自民党が選挙前と同数の284議席を得ることが出来ました。数の上では圧勝でありましたが、私が応援に回った地域におきましても、殆どが接戦であり、結果として、せり勝ったことの積み上げで大勝利、信託を受けた、というより野党が割れた事による要因が大きいと思いますが、しっかりと期待に応えられる取組が大切であります。今回の選挙公約には「消費税の使い方の変更」を掲げましたが、これは党での議論がなされないままの公約であり、詳細部分が全く見えていないのも現状であります。消費税を引き上げる本来の目的の社会保障費の確保に全力を傾けて参ります。

さて、9月28日の臨時国会冒頭にて昨年9月より1年間勤めて参りました参議院厚生労働委員長を辞任いたしました。当選4年目での抜擢は異例のことであり、委員会での法案審議は勿論の事、本会議登壇に於ける委員長報告などの公務の数々を経験させて頂きました。

今国会からは財政金融委員会の理事、東日本大震災復興特別委員会委員、行政監視委員会委員、党では自民党副幹事長・参議院自民党副幹事長(厚生労働担当)、厚生労働部会副部会長、内閣第二部会副部会長を拝命しております。

今回、委員会を財金に致しましたのは、すでに議論が始まっております診療報酬・介護報酬の改定や医療に於ける財源、控除外消費税、たばこ増税、そして平成31年10月に予定をしている消費税率10%への引き上げ、特にその引き上げ時の社会保障財源の配分問題等々、多くの財政的課題が山積しているからです。

すでに連日新聞でも報道されております財政審での議論には大変な危機感と落胆を感じております。

財務省案では財源論のみで診療報酬を2%以上上げるべきと無責任な意見が取り上げられており、財政審は「1990年代後半以降、医療機関の件費や物費を賄う診療報酬の水準については概ね上昇を続けた結果、民間の賃金や物価の水準と比べて高い水準となっており、国民負担の抑制や制度の持続可能性の観点からマイナス改定により是正していく必要がある。」としています。日本医師会の説明とは全く異なる解釈で、恣意的な資料分析です。

厚労省保険局の資料には「医療用消耗品などは技術料に包括されており、これらの上昇が医療従事者の件費を圧迫する要因となっている。」とありますが医療機関の件費は2000年度に50.2%であったものが2012年度には46.4%にまで減少しています。また医療機関費用の中での件費構造として、医師の件費割合は12.7%程度であり、33%超は看護師やその他の医療関係職種、事務職員等であります。報道において、診療報酬の技術料となっている部分があたかも医師の収入になっているかのような記載は大変遺憾であります。

またこの件費と一概に言っても現在の医療従事者数は約304万人(2014年)であり、この件費の財源は診療報酬であるため、診療報酬本体がマイナスという事になれば医療従事者の給与は当然厳しい

羽生田 だより



自由民主党群馬県参議院
比例区第八十二支部

羽生田たかし 国会事務所 羽生田たかし 群馬事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館319号室
TEL:03-6550-0319 FAX:03-6551-0319
〒371-0022 群馬県前橋市千代田町2-10-13
TEL:027-289-8680 FAX:027-289-8681

状態になります。
安倍総理は10月26日に3%の賃上げへの期待を表明し、経済財政諮問会議においても経済界に伝えており、その中で診療報酬がマイナス改定となれば300万人超の医療関係職者のみがアベノミクスから取り残されてしまいます。

さらに、この医療関連職種というのはその殆どが国家有資格者・技術者であり、質の向上や人材確保また技術向上・継承の観点からも給与評価により担保していくことが大切で、一般単純労働者の給与と単純比較することは誤りです。

また、10月25日の財政審の財政制度分科会で「高齢化・高度化により診療行為が増加しているため一定程度診療報酬がマイナスであっても報酬総額は増加するため医療機関の増収は確保される」と説明されていますが、高度な医療技術を使うのは大学病院や大病院であります。まさに数字操作のみで、医療現場を知らず、現実が分かってない者の表現であります。

患者が増えれば、対処時間・人員を増強する必要があり、もし現在と同じ人員配置で対応せよということであれば、労働時間の延伸により更なる加重労働を強いることになり、疲弊する医療現場は崩壊してしまいます。現在、働き方改革で配置基準と労働時間との間でも大きなきみがでているにも関わらず、このような無責任な発言の意図が全く理解できません。医療界からすれば、医療機関は再生産費用も殆どない状況で人件費を工面し、それでも医療従事者の給与水準は他産業より低いのが実態であります。その一方で民間企業の内部留保は406兆円に上ると言われています。

このように、制度上も運用上も性格の違う収支を単純に比較させ見せかけの誘導数字をならべて結論ありきで議論を創作しているとしか思えません。横倉日本医師会会長も先般表明をされておりますように、医療経済実態調査の結果を踏まえた診療報酬についての議論は、財政審ではなく中医協でしっかりと議論すべきであります。言いつ放しで発言に責任を持たず奇抜な発想だけを羅列する民間議員では無く、医療現場の実態を理解し、国民の医療・介護・福祉がどうあるべきかを見極める事ができる人間がこの国の未来を語るべきです。

私が10年以上言い続けておりますのは「民間議員は国会議員同様に資産公開すべき」であります。どれほどの収入や資産がある人たちが低所得者のことを語っているのか、まさかその民間議員の利益相反の為の改革になっていないか、しっかりと厳しい目で評価すべきです。

小泉政権時に毎年2200億の社会保障のキャップで医療崩壊を招いた事をしっかりと検証し反省すべきです。生命を財源や費用対効果だけで語るのでは無く、本当に患者にとって、日本の医療にとって何が大切であるかを発信し「生命こそが岩盤である」と訴え続けて参ります。

私はこれからも、地域医療をお支えいただき、懸命に現場で踏ん張っておられます先生方から、現場のお声を頂き、その声をしっかりと国政に届けてまいります。「すべての人にやさしい医療を」を実現する為、しっかりと邁進して参ります。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

参議院議員 羽生田 俊



全国での活動



6月11日
長崎県医師会会員総会懇親会



6月13日
横須賀医師会理事会



6月21日
長崎市医師会定時総会懇親会



7月2日
岩手県医師会総会にて講演



7月3日
富山県医師連盟執行委員会



7月6日
横浜市医師会訪問（水野会長と）



7月6日
神奈川県医師会理事会



7月14日
塩釜医師会長の医院訪問



7月14日
宮城県医師会訪問（嘉数会長と）

第193回通常国会では
参議院厚生労働委員長を務め、
医療・介護にかかわる法案の成立に
尽力いたしました。

国政報告のため
全国行脚中



7月10日
沖縄県医師連盟での講演後の懇親会



7月20日
佐賀県医師会理事会



7月23日
九州地区医師会共同利用施設連絡協議会
講演「財政論に押される医療」



7月25日
神奈川県医師連盟にて国政報告



7月27日
栃木県医師会 医療政策研究会にて講演



7月28日
千葉県医師会訪問（役員の皆様と）



7月30日
山形県医師連盟役員と意見交換会



8月9日
石川県・金沢市医師連盟にて講演



8月10日
鳥取県医師連盟執行委員会



8月23日
長野県医師会 理事会



8月24日
静岡県医師連盟 常任執行委員会



8月26日
九州医師会連合会 第113回 定例委員総会

群馬県での活動



6月11日
第45回 群馬県腎臓病患者連絡協議会



6月15日
よこやま勝彦（前橋市議）すその会総会



6月18日
群馬県網膜色素変性症協会（JRPS群馬）
第18回 定期総会



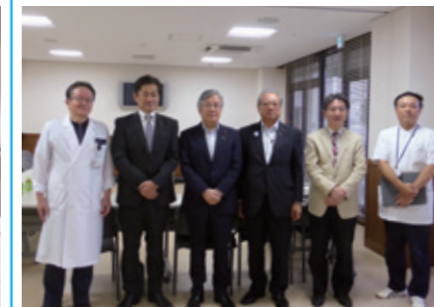
6月18日
狩野ひろし（群馬県議）後援会
粕川支部主催 パーベキュー大会



7月7日
群馬リハビリテーション病院
開設55周年納涼祭



7月8日
自民党群馬県連 ぐんま政治塾
講演「医療の現状と課題」



9月6日
群馬リハビリテーション病院 視察
医療関係職種との意見交換会



9月7日
群馬県商工会議所議員大会



9月2日
全国医師会共同利用施設総会懇親会



9月3日
近畿医師会連合会定時委員総会懇親会